

平成23年度

まちなみウォッチング



主催

都市建設局 まちづくり計画部 街づくり支援課

日時

1回目 平成23年9月16日 9～17時

2回目 平成23年9月22日 9～17時

参加者

1回目 18名参加

2回目 15名参加 (3名欠席)

8月1日付け、市広報紙に掲載し、市内在住、在学、在勤の20歳以上の人を対象に募集した。

9月16日・9月22日ともに、応募者が定員18名の約3倍を上回り、抽選により参加者を決定した。

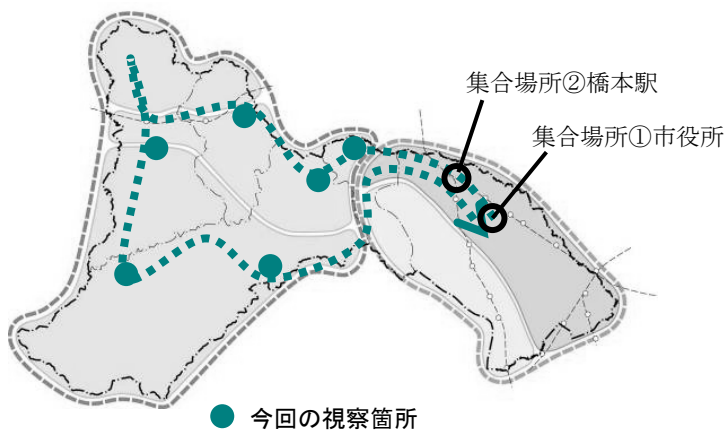
目的

良好な都市景観の形成を進めるためには、景観形成の担い手である市民の理解と協力が必要不可欠である。

このため、「まちなみウォッチング」により良好な景観を共有財産として認識するきっかけを作り、市民が自分達の住むまちを観察しながら歩くことにより、景観資源を知り、親しみを持ってもらうとともに景観づくりの意識の醸成を図ることを目的とする。

場所

津久井地域(旧城山町、旧津久井町、旧相模湖町、旧藤野町)の特徴的な景観を持つ視察場所をバスで巡った。



■「小松・城北」里山地区(緑区川尻)

後継者不足により十分な管理が行われなくなってきた里山を保全するため、『「小松・城北」里山をまもる会』が設立され、この地区の活性化のために活動している。今回のまちなみウォッチングでは会長の説明を聞きながら地区内を歩いた。コスモスや彼岸花が咲き、稲穂は色づいていた。

2回目(9月22日)は、前日の台風の被害があらこちらで見られた。



- ・景観は良いが、交通がやや不便。休耕地の一部を駐車場にしてみても。
- ・コスモスなどもう少し多く植えてほしい。
- ・まだ手を加えるところがたくさんある。せつかくのすばらしい場所なので荒れた状態にしてほしくない。倒木などが目立った。
- ・昔の風景があり、良かった。
- ・高齢化のせい、田畑が荒れている箇所が多く見られた。
- ・相模原にこんな良いところがあると思わなかった。
- ・行政が景観を保護するため、十分な援助をするべき。
- ・農地や農家との調和した景観を保つために後継者確保をお願いしたい。
- ・秋の実りが豊かだった。緑美しい山々は残していただきたい。

■金刀比羅宮(緑区川尻)

城山湖近くにある金刀比羅宮は、厄除け・招福の神様として古くから信仰を集めている。市内東部の全景、東京方面が望める。

2回目(9月22日)は、台風被害のために、金刀比羅宮内は見学できなかった。



- ・交通が不便。駐車場の整備が必要。
- ・宮の手入れはしないものなのか。もう少し整備してほしい。
- ・台風でたくさんの木が倒れてしまい、残念。
- ・今後休憩所を設ける予定とのこと、期待したい。
- ・すばらしい景色。このような場所は知らなかったので残してほしい。
- ・ハイキングをしたい。

■尾崎号堂記念館（緑区又野）

憲政史上に輝く尾崎行雄の記念館で、尾崎家の屋敷跡に建設された。

最初にビデオで記念館の紹介を見た後、管理人の説明を聞きながら施設の見学をした。



- ・これほどの人物の記念館としてはもっと知られていても良い。寂しすぎるので、市としてもっと宣伝してみても。
- ・見学時間不足、再度訪問の予定。
- ・桜が咲く頃、また来てみたい。桜やハナミズキの開花時は美しいと思う。
- ・中学生の頃、英語の教科書でワシントンへ桜を贈った内容を勉強したことを思い出し、興味深かった。
- ・名前だけは聞いていたが、しっかり勉強できた。
- ・庭などの手入れをするべき。ペンキを塗り替えたほうが良い。

■小原宿本陣（緑区小原）

江戸時代、参勤交代で往来する大名が泊まった宿を本陣と言い、東海道と甲州街道にあった 26 軒の本陣のうち、唯一現存するのが小原宿本陣である。神奈川県指定の重要文化財となっている。

当日は、小原宿本陣内で管理人からの説明を聞き、解説を聞きながら、本陣内を見学した。



- ・歴史的に重要な建物と風景だと思う。
- ・また大名行列を見に来たい。
- ・古い建物独特の趣きがあり、今後も保存してほしい。
- ・庭の手入れをもっとしてほしい。屋根が茅葺きだとなお良い。
- ・昔の家の造り、本陣としての役割など見応えがあった。
- ・係員の説明が分かりづらい。解説は本陣の役割と設立時期程度で十分。
- ・名前ほど見学できる場所がない。

■県立相模湖公園（緑区与瀬）

昭和 22 年に相模ダム完成と共に生まれた人造湖である相模湖畔に昭和 26 年の開設された県立都市公園。夏の花火大会や 12 月のイルミネーションが有名。

駐車場でバスを降りた後、公園内を歩いた。

※2 回目（9 月 22 日）は雨天のため、降車しての見学できなかった。



- ・貸舟業者などがイベントやPRをしてみてもは。
- ・前に来た時よりきれいになっていた。
- ・昭和の頃はもっと訪れる人が多かったと思う。
- ・嵐山からの景色も見てみたい。

■名倉地区（芸術の道）

芸術の道各所に野外彫刻が展示されている。作品数は約30点あり、それぞれにタイトルがついている。

歩いて回ることもできるが、パンフレットを片手に今回はバスの中から作品を見た。

- ・思いがけないところに作品があり周囲とマッチして良かった。
- ・初めて通った。もっとアピールしてみてもは。
- ・たくさんの芸術作品が見られて良かった。独創的で良かった。
- ・写真と見比べながら回れたので良かった。

■藤野芸術の家（緑区牧野）



陶芸や木工などの出来る工房、スタジオやホール、宿泊施設もあり、豊かな自然に囲まれた芸術体験施設。

施設の方の案内で、施設内を見学した。

- ・交通手段がやや問題有り。設備や利用料は魅力的。
- ・交通の便が良ければ最高。
- ・工房を見て、自分でも作ってみたい。宿泊してみたい。
- ・舞台つきのホールや宿泊施設、レストランまでであるとは思わなかった。
- ・緑に囲まれての作品作りはとても雰囲気が良い。
- ・芸術の家らしく、良かった。

■諏訪神社（大杉）、青根小学校（緑区青根）

諏訪神社のご神木は推定樹齢700年以上で、県の天然記念物にも指定されている。青根小学校は木造の校舎が特徴。バスを降りて、見学した。

※9月16日は時間の都合上、見学できなかった。

- ・このように太い杉は初めて見た。見学してよかった。
- ・大杉を実際に触ることができ、良かった。
- ・思っていたよりは小さく感じた。
- ・末永く木造校舎を維持してもらいたい。校舎内も見学したかった。
- ・大杉に感動した。ぜひ保存してほしい。
- ・小学校は懐かしく、自分の小学校時代を思い出した。



■鳥居原ふれあいの館（宮ヶ瀬湖）（緑区鳥屋）

まちなみウォッチングの最後に、宮ヶ瀬湖のパーキングに寄り、それぞれ買い物や休憩をした。

- ・施設があまりきれいではない。売店の目玉商品が無く寂れてしまいそう。
- ・買い物したかったがあまり時間が無かった。
- ・宮ヶ瀬湖の風景と山の調和がきれい。休憩所として必要。
- ・特産品も購入でき、良かった。

■景観資源について

一日の視察を終えた後、アンケートで「相模原らしい魅力ある景観形成を進めるために、今後保全・活用が必要なものは・・・」と伺った結果が以下のとおり。

- ・拠点となる湖
- ・公園
- ・小松・城北などの里山
- ・尾崎号堂記念館
- ・小倉橋
- ・桜並木
- ・小原宿本陣

■最後に事務局より

今回のまちなみウォッチングは、2回とも津久井地域での開催となりました。参加者には、旧市域内にお住まいの方の方が多く、「今まで知らなかった」「初めて見た」などの声が多く聞かれました。アンケート等の結果は、来年度以降の開催などに反映させる予定です。